**UNIT 3**

Summary （　　）に適切な語句を補い，各段落の要約を完成させなさい。

１ 導入（レアアース金属の定義と発見）レアアース金属は今日の先端技術において，重要な役割を担っている。これは，元素周期表の中の①（　　　　　）の元素の集合で，ほかの金属のように大量には見つからないので，このように呼ばれる。1787年に②（　　　　　　　　　　）で発見されて以来，ブラジルなどの国々でも見つかっており，2011年には③（　　　　　）の泥の中からも大量に見つかったのだが，それを採掘する技術は開発途上である。

↓分離技術の開発と近年の利用

２ 展開（レアアース金属が高価である理由とその用途）レアアース金属は採掘を経済的にするほどの量は見つからないことと，ほかの④（　　　　　）から除去・⑤（　　　　　）させる必要があることから，高くついてしまう。効率的に（　⑤　）する技術が開発されるまで，レアアース金属はあまり使われていなかった。この⑥（　　　　　）年間で，ハイブリッド車や風力タービン，フラットパネル，病院の⑦（　　　　　）装置など，グリーンテクノロジーやクリーンエネルギー，先端技術で使われるようになっている。

↓レアアース金属の新たな回収源

３ 結び（現状）最近では，再生産技術が進歩したことで，中古の⑧（　　　　　　）からレアアース金属を回収することができるようになっている。また，⑨（　　　　　　　　　　）西部では，金・銀・銅の採掘後の堆積からもレアアース金属が見つかっている。

【解答】

①17　　②スウェーデン　　③海底　　④鉱物　　⑤分離　　⑥10　　⑦MRI

⑧電子製品　　⑨アメリカ合衆国